

実際の授業はどう？子どもの変化は？

児童と保護者に直撃インタビュー！



調べものも簡単に
できるようになりました



なみき かいと
並木 海翔さん
(6年生)

自分の考えだけでなく、友達の考えも大型モニターに映し出されるので、「こんな考えもあるんだ」とか「この考えっておもしろい」など発見がたくさんあります。

来年は卒業ですが、端末を使って、クラスのみんなどの思い出を一冊の本にまとめてみたいです。

長い文章を素早く
打ちこんでみたいです



おりはら たくと
折原 琢斗さん
(2年生)

端末にはいろいろなソフトが入っていて楽しいし、勉強しやすくなりました。友達の意見が見られるので、それをもとに自分の考えを直すこともあります。

今までは文字の入力は指で直接書いていたので、キーボード入力をやってみたいです。

たなか ともこ
田中 朋子さん
(清久小学校PTA会長)

端末で学ぶのが
楽しいみたいです！



子どもたちは普段、家でゲームや動画を多く見ているので、端末が一人一台と聞いて、最初は「目が悪くなるんじゃないか」という不安もありました。

でも蓋を開けてみれば、端末を使っての勉強がとても楽しいようで、以前よりも集中して勉強に取り組んでいると感じます。

また、大型モニターにクラスみんなの考えが映し出されることで、誰がどう考えているかが分かるので、クラスに一体感ができているという印象を受けています。



Point!

ICTを取り入れながらも、ノートや黒板に書いたり、挙手したりという、アナログな面の良さも生かした授業づくりをしています。



していただき、端末を活用した学習の家庭での試行にも取り組んでいます。

個々の理解に応じた学びの提供や様々な考えの共有など、ICTならではのメリットは多くあります。一方、清久小学校は、地域の文化や歴史、産業を生かした体験活動、地域の皆さんとの交流などの豊かな学びが根付いています。

今後は、ICTを活用した学びとこれらの豊かな学びを両輪とし、保護者や地域の皆さんと一丸となって、子どもたちを健やかに育てていきたいと考えています。